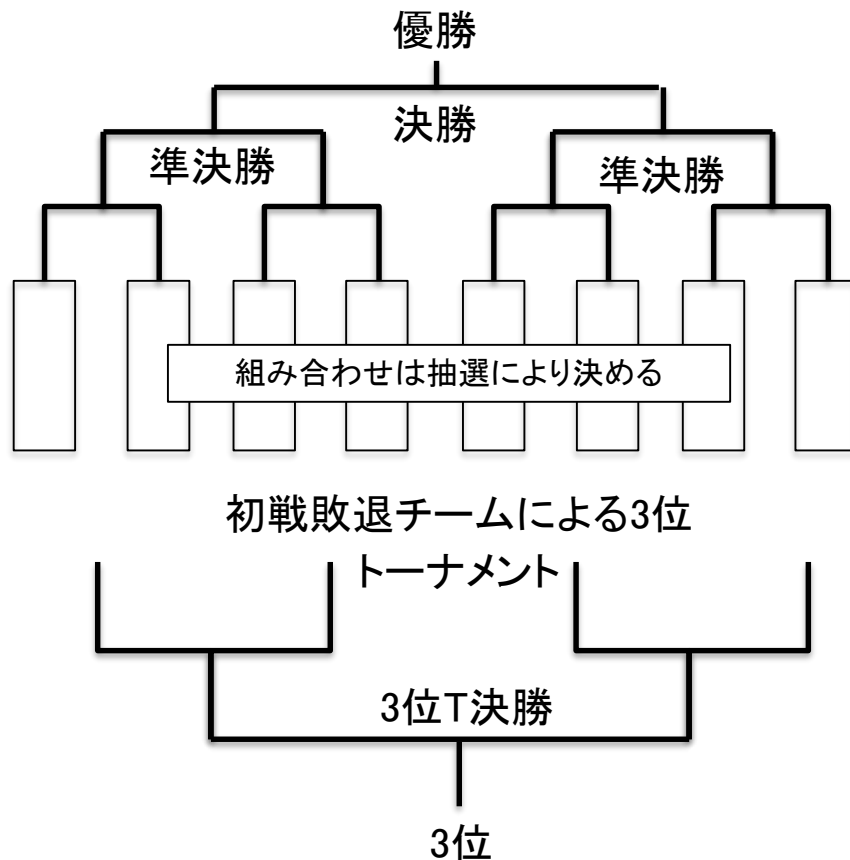


今大会の対戦方式

A級(参加8チーム)

トーナメント



8チームのトーナメント戦。

1回戦の敗者で「3位トーナメント」を行う。

準決勝敗退チーム(2チーム)
と3位トーナメント勝ち残り(1
チーム)の計3チームを3位と
する

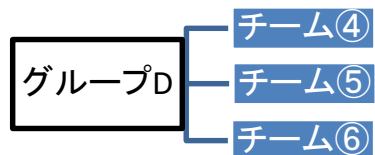
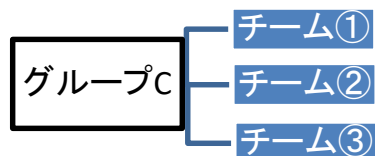
- ・A級の試合は2シートにて行う。(シートA,B)
- ・審判は試合のないチームに依頼する。
- ・勝敗の差枚数は計数しない。
- ・1日目(29日)に1回戦及び3位トーナメント1回戦を実施。
- ・2日目(30日)に準決勝、決勝、3位トーナメント決勝を実施。

今大会の対戦方式

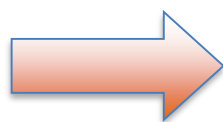
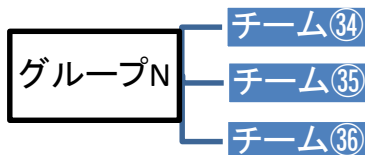
B級(参加36チーム)

予選リーグ(29日)

3チームのリーグ戦
(総当たり)各試合の差枚数を記録する



(全12グループ)



上位1チーム
勝ち抜け(12チーム)
+WC上位4チーム

○勝敗数が並んだ場合の
グループ1位決定方法
①差枚数合計※が多いチーム
②くじ引き
優先順位①→②

※差枚数合計=勝った試合の差枚数
- 負けた試合の差枚数

○ワイルドカード(WC)

各グループの2位チーム同士の差枚数合計を比較して差枚数合計が多い上位4チームが決勝Tへ進出する。

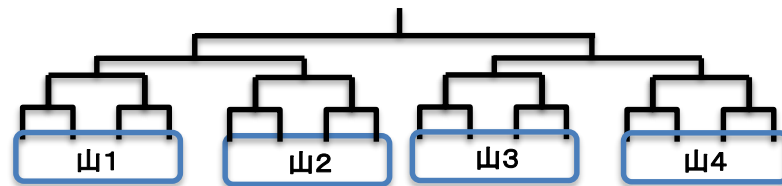
2位チーム同士の差枚数合計が同数の場合は次の通り順位を決める

- ①勝ち試合の差枚数の多いチーム
- ②負け試合の差枚数の少ないチーム
- ③くじ引き

決勝T1回戦(29日4試合目)

16チームで決勝T1回戦を行う

・決勝Tの組合せは第3試合後抽選する



※決勝Tに同一倶楽部から複数チーム出場した場合の抽選方法

①5チーム→5チームから予め4チームを山1～山4に割り付け、残り1チームは他チームと一緒に抽選し、同一倶楽部が出た場合は初戦対戦が無いようにずらす。

②4チーム→4チームを予め山1～山4に割り付け、準決勝まで対戦がないようにする。

③3チーム→準決勝まで対戦がないように同一倶楽部が出た場合は隣の別山にずらす。残りチームが残り山と同数になった時点で残りチームを先に残りの山に貼り付ける。

④2チーム→決勝まで対戦がないように同一倶楽部が出た場合は山3へずらす。山1(4チーム)に出なかった場合は先に残りの山に貼り付ける。

⑤6チーム→①に準じる。

ベスト8

決勝トーナメント2回戦以降(30日)

3位決定戦は無し

伝統と誇りを次の百年へ
岩見沢梅ヶ枝歌留多倶楽部

【解説】 差枚数による順位決定について

Xグループ

チーム名	松	竹	梅	差枚数	順位
松		○ 16	× -10	6	2
竹	× -16		○ 1	-15	3
梅	○ 10	× -1		9	1

Yグループ

チーム名	金	銀	鉄	差枚数	順位
金		○ 13	× -5	8	1
銀	× -13		○ 20	7	2
鉄	○ 5	× -20		-15	3

Zグループ

チーム名	波	風	雪	差枚数	順位
波		○ 15	× -9	6	2
風	× -15		○ 25	10	1
雪	○ 9	× -25		-16	3

例: 各グループ1位が決勝T進出
各グループ2位のうち上位4チームがWCで決勝T進出

各グループの1位

Xグループ: 梅

Yグループ: 金

Zグループ: 風



決勝T進出

WC争い(グループ2位)

Qグループ: 馬(20)

Wグループ: 鹿(15)

Xグループ: 松(6)

Yグループ: 銀(7)

Zグループ: 波(6)



- ・差枚数よりQの馬、Wの鹿、Yの銀は決勝T進出
- ・WC4位はXの松とZの波が同枚数(±0枚)
- ・抽選順位①の比較を行い、松16枚、波15枚より松がWCで決勝T進出

○ワイルドカード(WC)

各グループの2位チーム同士の差枚数合計を比較して、差枚数合計が多い上位3チームが決勝Tへ進出する。

2位チーム同士の差枚数合計が同数の場合は次の通り順位を決める

- ①勝ち試合の差枚数の多いチーム
- ②負け試合の差枚数の少ないチーム
- ③くじ引き

伝統と誇りを次の百年へ
岩見沢梅ヶ枝歌留多倶楽部